

社内プロジェクトチームが運用ルールづくり&全体最適化

データベース

DBの共通化・システムの徹底活用によるDX推進

これで解決！

**Point.1** 商談や顧客を管理するルールとデータベースを構築し、営業力UP！**Point.2** 既存システムのフル活用で、業務効率を飛躍的に改善！**Point.3** クラウドストレージ+セキュリティ強化でDX推進の基盤を構築！課題
はココ！**1** 商談や顧客の管理については、社内共通のデータベースや明確な運用ルールがなく、複数の部門でそれぞれExcelや紙ベースで管理しており、施工後の定期的なアフター点検など効果的な顧客対応や需要の掘り起こしを行っていない。**2** 現在の原価管理システムでは、活用していない機能があり、一部、Excelや紙ベースで補っているため、データの転記・二重入力などが発生。パッケージの更改やスクラッチ開発などを検討。**3** クラウド活用が限定的であり、本社外でのデータ活用など更なるDXの推進に取り組めていない。また、ファイル管理等に関する社内ルールがないことや紙ベースでの情報があることなどから、必要な情報をすぐに取り出せる環境になっていない。

▲グループとして建築、建設など多様な部門を持ち、「よりよい生活環境」を実現する全ての機能を有する。

解決の
ポイントは
ココ！**1** 社内共通で、商談や顧客を管理するルールとデータベースを構築。商談のステージや定期的なアフター点検の状況を見える化。社内顧客対応に関するスケジュールや漏れ・気づきが共有でき、営業力が強化されている。**2** プロジェクトチームで業務と現システムの機能・活用状況・他のパッケージなどを検証。現システムの全機能を活用できること、その方法が最も効果的であることが判明。データの転記・二重入力がなくなるとともに、システムへの蓄積・連携が進み、業務効率は飛躍的に改善。**3** ファイル管理のルールづくりとクラウド化を図り、本社内外でデータを活用しやすい環境を実現。併せてセキュリティも強化。今後、さらなるDXと働き方改革等を推進するための基盤を整備。

▲計画・設計・施工・管理の各段階でデータとデジタル技術を活用し、建設DXを推進。

IoT活用の成果

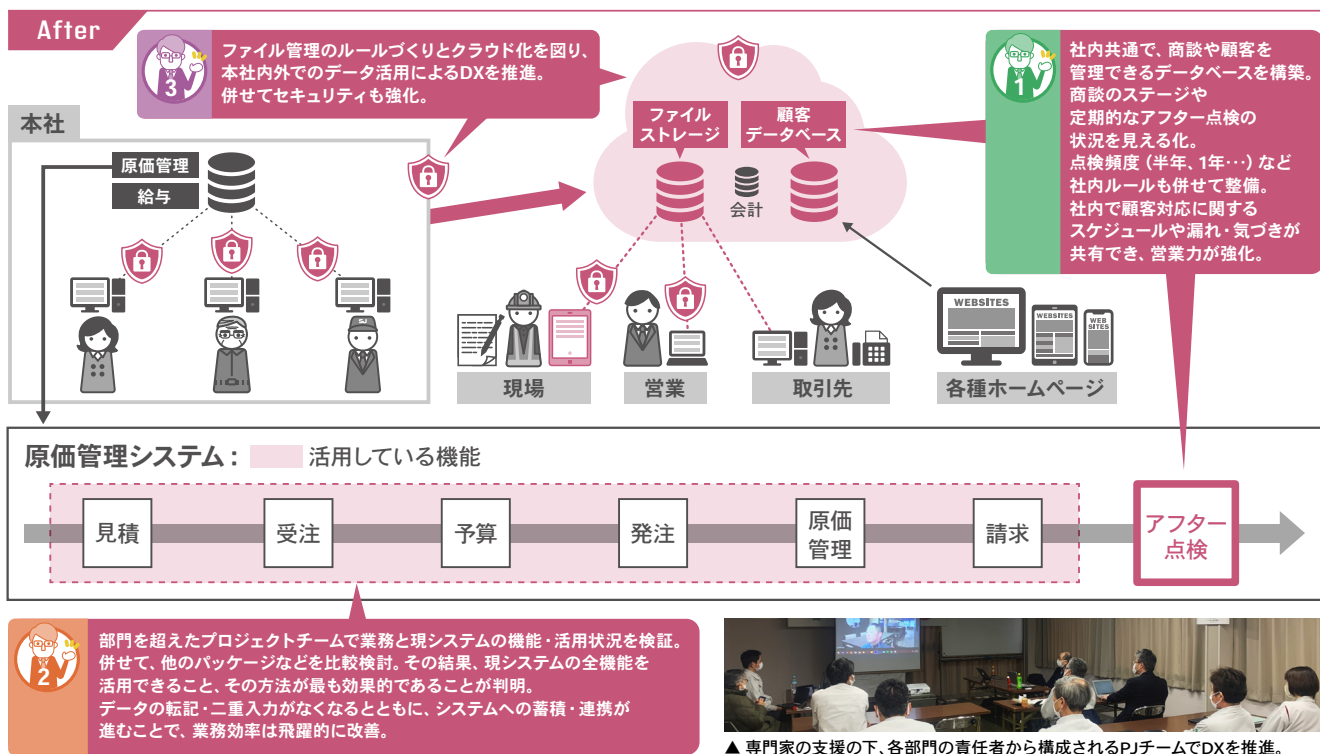
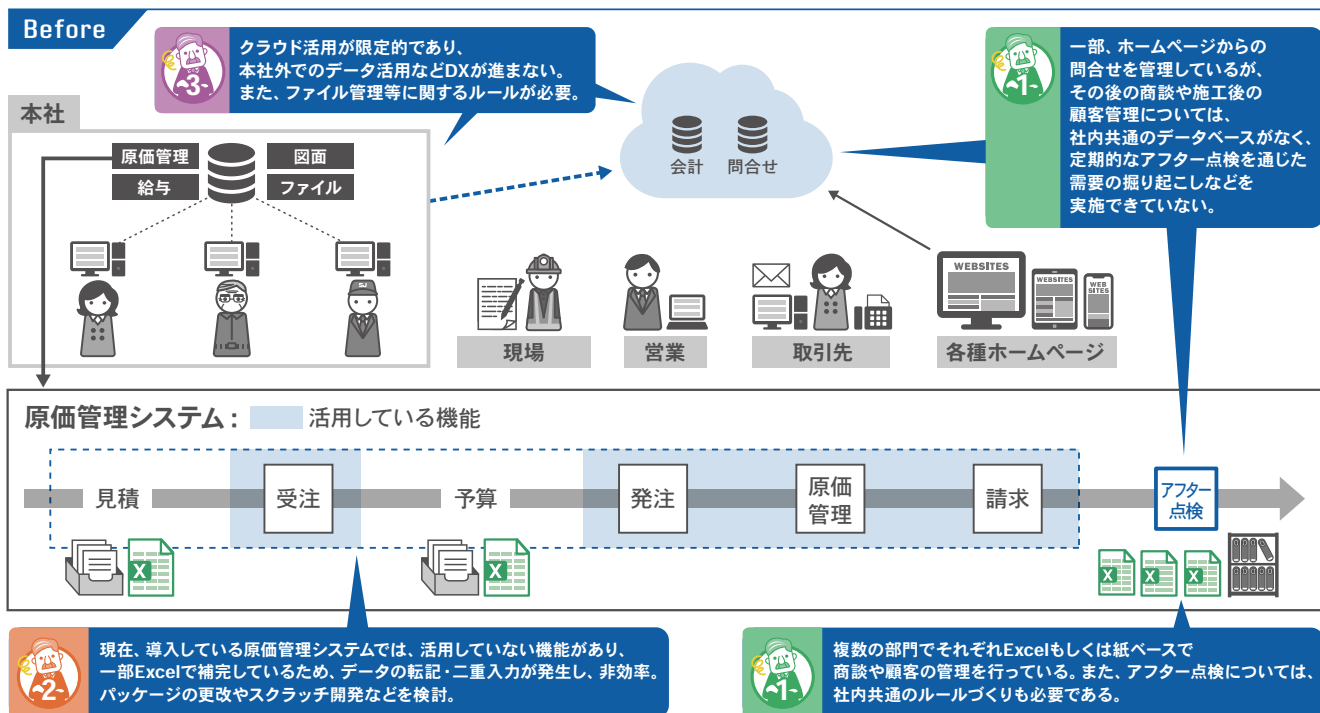
商談と顧客のステータスが見える化・共有されることで、会社全体の営業力が高まった。また、アフター点検の強化は、顧客満足度UPとともに新たな受注につながっている。

既存システムの徹底活用とクラウドストレージにより、データがより蓄積・活用しやすくなった。また、プロジェクトを通じ、体制も整い、さらなるDX推進の基盤が構築できた。

こんな成果が！



▲社内のDXプロジェクトを推進するため、社員のリスクリングを積極的に応援している。



今後の展開

社内稟議のデジタル化、Web給与明細など更なる社内業務の効率化、働き方改革等を検討。また、取引先との書類のやり取りや情報共有、デジタル技術を活用した建設・建築現場のカイゼンなどさらなるDX推進も視野に入れる。

株式会社 野田建設

【本社】〒501-3246 岐阜県関市緑ヶ丘 2-5-78

TEL. 0575-23-5555 FAX. 0575-24-5733 創業／1958年 資本金／8,000万円 従業員数／80名

創業以来、「しあわせづくり応援企業」として、グループ内にインテリアからエクステリア、リフォーム、営繕、住宅建築、マンション建築、一般建築、土木の部門を持ち、よりよい生活環境の実現のために、その全てを包括的に提供できる機能を有している。また、不動産部門を持ち、賃貸住宅の運営・管理を自社で行う。さらに近年、太陽光発電・省エネ、高齢者住宅、介護サービスなど社会問題を解決する事業展開にも積極的に取り組んでいる。

当事例に協力した専門家等

永井 信夫 氏 (ITコーディネータ)

中小企業のDX推進を伴走型で支援。IT経営診断・業務分析を通じた全体最適化・戦略マップづくりを得意とする。「あるべき姿」の実現に向け、ツールやベンダーの選定からテスト・検証、人材育成まで着実なIT導入を伴走。

※当事例では中小機構「IT経営簡易診断」、ソフトピアジャパン「スマート経営応援隊」などの事業が活用されました。